HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	FUNCTIONAL MORPHOLOGY AND EVOLUTION OF HYOLARYNGEAL APPARATUS IN ARCHOSAURIA [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review]
Author(s)	吉田, 純輝
Degree Grantor	北海道大学
Degree Name	博士(理学)
Dissertation Number	甲第13915号
Issue Date	2020-03-25
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78180
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	doctoral thesis
File Information	Junki_YOSHIDA_review.pdf, 審査の要旨

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

学 位 論 文 審 査 の 要 旨

博士の専攻分野の名称　博士（理　学）　氏　名　　吉　田　純　輝

	主査	教　授	小　林　快　次
審査担当者	副査	教　授	中　川　光　弘
	副査	准教授	伊　庭　靖　弘

学 位 論 文 題 名

FUNCTIONAL MORPHOLOGY AND EVOLUTION OF HYOLARYNGEAL APPARATUS IN ARCHOSAURIA

（主竜類の舌喉頭器における機能形態と進化）

博士学位論文審査等の結果について（報告）

近年、あらゆる角度で恐竜の研究が行われている。その一方で、恐竜の舌や喉に関する研究は皆無に等しかった。その理由は、筋肉や腱といった軟組織が保存されることはなく、さらにそれに関わる骨（舌骨や喉頭骨）が化石として残ることがほとんどないからだ。

吉田君は、誰も行って来なかったこの舌骨や喉頭骨に着目し研究を行った。この研究は現生種でも行われていなかったため、彼は現生種のデータを蓄積した。また、骨と軟組織（筋肉や腱）の関係を初めて明らかにし、それを恐竜類へと応用した。その結果、水棲適用、舌の進化、発声の進化といった、新しい研究を生み出している。吉田君は、新しい研究トピックを先駆的に行った。

よって著者は、北海道大学博士（理学）の学位を授与される資格あるものと認める。